

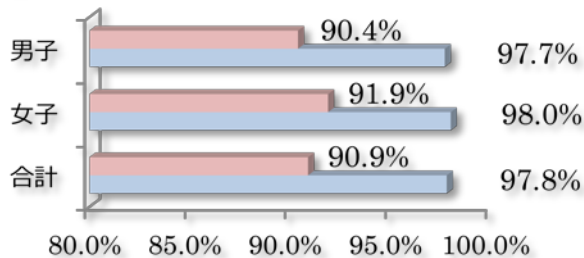


<2013年度・商学部生> 在籍者数 (6月12日現在)

	1年生	2年生	3年生	4年生
男子	350	366	397	542
女子	260	288	270	266
合計	610	654	667	808

<2013年3月卒業・商学部生> 進路決定状況

■ 就職率: 就職決定者数 (自営含) / (卒業生-進路決定者数)
■ 就職決定率: 就職決定者数/就職希望者数



講演会開催・報告



2013年6月24日(月) 15:10~

会場: B号館 203号教室

テーマ: 「多国籍企業のグローバル人材開発」

講師: 島村東世子氏
(株式会社イー・グローブ代表取締役社長)

2013年6月28日(金) 13:30~

会場: 図書館ホール

テーマ: 「CANADA-JAPAN EPA」(仮題)

講師: マッケンジー・クラグストン氏 (カナダ大使)

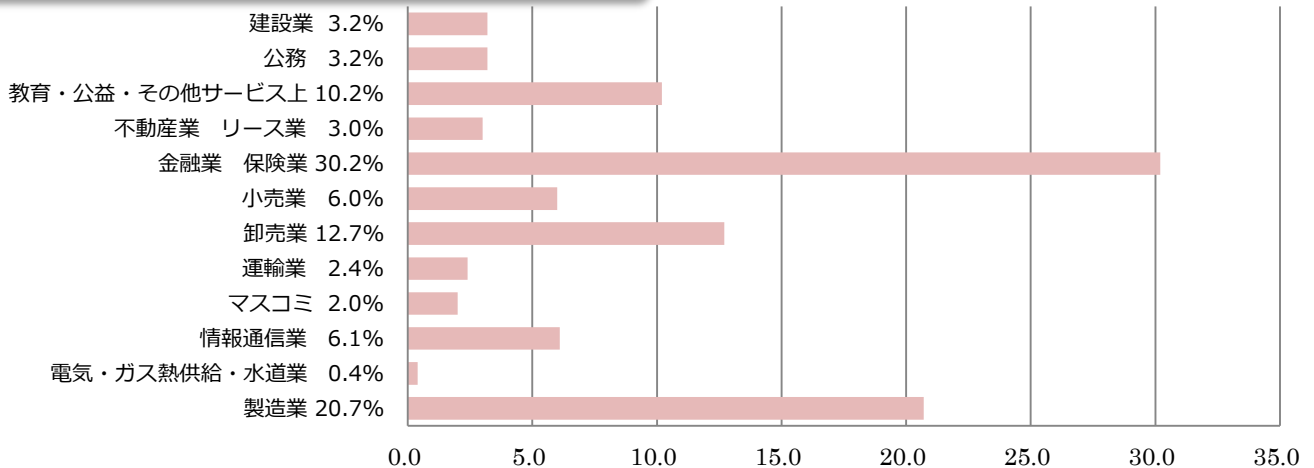
2013年7月2日(火) 14:45~

会場: 関西学院会館レセプションホール

テーマ: 「日米のきずな~日本の若い人々に期待すること」(仮題)

講師: ジョン・ルース氏 (アメリカ大使)

<2013年3月卒業・商学部生> 就職状況



私が薦めるこの一冊

梶浦 昭友 教授

『統計学が最強の学問である』

西内 啓 (著)、ダイヤモンド社、2013年

ISBN: 978-4478022214

学生諸君でも20年ほどこの世の中を生きてくると、すでに多くの先入観や思い込みがあり、また、噂話、口コミやマスコミの報道などが予断を形成している。ところが

「それホンマ?」と問われると「???」は多いだろう。本書は曖昧な予断ではなく、検証に基づいた判断を導くための統計上の重要な課題を、手法の問題点をも指摘しながら「縦書き」で記述した入門書であり、エビデンスの探し方にも及ぶ読むべき最強の本の1つである。

とはいえ基盤となるデータを生成する会計学のような学問も最強なのだが。



Business Wings 編集状況



商学部では、学生が中心となつて編集する学生研究誌

"Business Wings" を毎年3月に発行しています。今年度も研究演習Ⅰの各クラスから選出された学生編集委員が、「商学部

出身の有名人へのインタビュー」、「留学体験記」、「商学部主催学術講演会」など企画ごとに分かれて編集作業を始めました。「前からやってみたかった」という人が多く、すでに二度あったミーティングも和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、順調に作業が進んでいます。

『International Review of Business』発行

英文紀要

『International Review of Business』

No.13が2013年3月に発行されました。



教員紹介

西本 章宏 助教



4月に本学商学部に着任して早3ヶ月が経ちました。私も商学部の卒業生なのですが、キャンパスで学生の皆さんたちを見かけると自分が学生時代だった頃のことをふと思い出すことがあります。商

学部生だった頃に、はじめて「マーケティング」という学問に出会って、当時はゼミの仲間たちと朝から晩まで無我夢中でマーケティング研究に打ち込んでいました。そんなことをしているうちに、「マーケティング」がその後の自分の人生にこんなにも大きな影響を与えることになることは夢にも思いませんでした。学生時代には、勉強だけでなく、いろいろなコトに一生懸命取り組んでみてください。きっと皆さんの今後の人生にとってかけがえのない資産になると思います。

教員の著書・出版のご案内

海道ノブチカ教授著

『ドイツのコーポレート・ガバナンス』

- ◇中央経済社
- ◇2013年3月発行
- ◇価格 ¥3,150



井上達男教授共著

『エッセンシャル 財務会計』

- ◇中央経済社
- ◇2013年3月発行
- ◇価格 ¥3,990



関西学院大学キリスト教と文化研究センター編（山本俊正教授共著）

『ミナト神戸の宗教と
コミュニティ』

- ◇神戸新聞総合出版センター
- ◇2013年4月発行
- ◇価格 ¥1,785



2013年度 春学期試験・夏季休暇

定期試験	7月16日（火）～7月31日（水）
追試験	8月2日（金）、8月5日（月）
夏季休暇	8月6日（火）～9月19日（木）

林 健太 助教



商学部の中では少数派の経済学の教員として4月に着任しました。「経済学」と聞くと、「経済学基礎」での苦い(?)経験から、「どうい

うわけか強制的に勉強させられるおもしろくない学問」と思っている人が多いのかもしれませんが。しかし実際には、経済学は市場の分析にとどまらず、企業の組織や戦略、日頃の購買行動や国際関係に至るまで非常に広範な分野に応用できます。私自身も、経済学とは一見関係なさそうな、政府組織の人事システムやガバナンスについて研究しています。学生の皆さんが経済学の勉強を苦痛に思わず、ビジネスや社会を見る1つの視点として経済学の考え方をもち続けてもらえるように、私は講義を通して経済学の「布教活動」をしようと思います。

